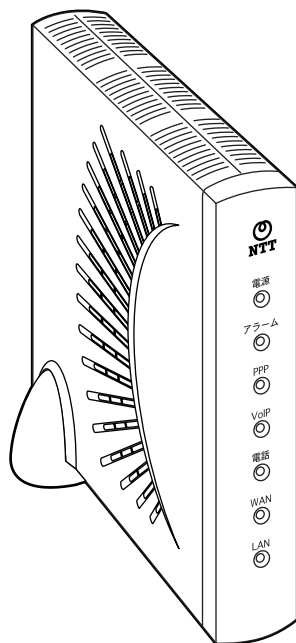


VoIPアダプタ 取扱説明書

このたびは、VoIPアダプタをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。








安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店で求めください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

厳守事項

■ IDとパスワードの取り扱いについて

ユーザーIDとパスワードはお客様の大切な個人情報です。入力は必ずお客様自身で行ってください。

■ 取扱説明書の内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに關するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に関覧していただくことをおすすめします。

当社ホームページ： <http://web116.jp/ced/>

： <http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

ご使用にあたってのお願い

本商品のご利用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡いただければ、「機器使用料」は、不要となります。

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様と完全には一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

記載しているWebブラウザなどの画面はイメージを説明したものです。実際の画面と相違している場合がありますので詳細は実機にてご確認ください。

また、機能向上のためWebブラウザなどの画面は予告なく変更される場合があります。

Microsoft、Windows、およびWindows Vistalは、米国および／または他の国のMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。

Ethernetは、米国XEROX社の登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

なお、本文中には、™、®は明記しておりません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常音がするなど異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所にご連絡ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造したりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。指定以外の内部の点検、調整、清掃、修理は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 本商品のそばに花瓶、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となることがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電の原因となります。
- 医療用電気機器の近くに設置したり、近づけないでください。
本商品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。
本商品から電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から30 cm以上離してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

警告

- 電源アダプタコードに傷を付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災、感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。すぐに本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- めれた手で本商品进行操作しないでください。感電の原因となることがあります。
- めれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- お客様がご用意された機器を本商品に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続して使用しないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜き、電話機コードを差込口から抜いて、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 万一、漏電した場合の感電事故防止や、誘雷による感電防止、機器保護のため、必ずアース線を取り付けてください。また、アース線をガス管に接続しないでください。爆発の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。ほこりにより火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

注意

- 直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。また、通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品を横置きでご使用になる場合、底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

お使いのとき

注意

- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。発熱により火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災、故障の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・テーブルクロスなどを掛ける。
 - ・本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
 - ・紙、本などを載せたり立て掛けたりする。

お使用のとき

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
- お手入れをするときは、安全のため必ず本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。
- 半年に1回程度、電源アダプタと電源コンセント間のほこりを、取り除いてください。ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。ほこりを取り除くときは、安全のため必ず本商品の電源を切り、電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生するおそれがあります。あらかじめ冗長性のあるシステム設計、バックアップなど構成してください。
- 本商品の電源スイッチをONにした状態で、電源アダプタコード端子にプラグを差し込むと、火花が発生する場合があります。プラグを抜いたり、差し込んだりする場合は、電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

取り扱いについて

STOP お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 再起動中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

置き場所について

STOP お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 電気製品、A・V・O・A機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき

STOP お願い

- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。故障の原因となることがあります。
- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック部品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

電話機能に関する注意事項



[IP電話と加入電話の選択]

- 本商品に接続した電話機からは、IP電話および加入電話を利用することができます。
- IP電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、本商品のVoIPランプまたは発信時にハンドセット（受話器）から聞こえる音により識別できます。

発信時に聞こえる音			
音の意味	IP電話として通話します。	IP電話では通話不可のため、加入電話に切り替えます。	加入電話として通話します。
通話料金	IP電話通話料 ご契約のプロバイダから請求されます。	加入電話通話料 NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる発信者番号	IP電話番号 例：050-1234-5678	加入電話番号 例：03-1234-5678 06-1234-5678	
通話できる相手	IP電話サービスのサービス対象通話	IP電話サービスのサービス対象外通話	下記の番号は、常に加入電話として発信します。 110番、119番などの緊急通報 0000+相手先電話番号 113、116 117、177などのサービス(184、186以外) #で始まるダイヤル
	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※IP電話サービスによって、サービス対象（IP電話として通話できる相手先番号）が異なります。 ※IP電話ではつながらない番号（サービス対象外通話）をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※停電時やIP電話対応機器の電源が入っていないときは、すべて加入電話からの発信になります。		

安全にお使いいただくために必ずお読みください

[IP電話の利用]

- IP電話をご利用いただくためには、プロバイダ等とのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。
なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダ等のサーバと通信できる状態にない場合、IP電話は利用できません。
- IP電話はプロバイダ等が提供するサービスです。IP電話のサービス内容や利用料金等を、ご契約されるプロバイダ等に必ずご確認ください。
- IP電話として通話した場合の通話料金はプロバイダ等から請求されます。また、IP電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダ等から付与されたIP電話番号です。
- IP電話として接続できない通話（IP電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合等）は、加入電話としての発信に自動切替されることがあります。自動切替される条件はご契約されたIP電話サービスによって異なりますので、プロバイダ等にご確認ください。
- IP電話の通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
 - ADSL回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
 - インターネットで十分な帯域が確保できない場合
 - 本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合
- IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
確実に通信したい場合には、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルし、加入電話をご利用ください。
- 加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動された場合は、通話が切断されます。
- 本商品に接続している電話機のACR等の機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ACR等の機能によって加入電話としての通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。
必ず電話機のACR等の機能は停止させてください。

[加入電話の利用]

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
- 緊急通報（110番や119番等）等、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話としての発信になります。
本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。
※ 他に113、116、117、177等の1から始まる3桁番号や#で始まる番号。ただし、184、186は除きます。
- 110/118/119の緊急番号に発信した場合は、呼び返しに備えて加入電話と電話機とを直結します。このためIP電話による発着信はできなくなります。
この状態を解除するには、本商品の電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- 意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルしてください。
- なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。
- 停電時および本商品の電源が切れている場合、および本商品のIP電話設定が未設定の場合は、すべて加入電話としての通話となります。

お客様情報に関する注意事項



- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけてください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却等）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順に従って実施してください。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
特長	14

1 お使いになる前に

セットを確認してください	15
各部の名前	16
初期設定を行うには	18
使用環境に合わせた設定方法	18

2 IP電話を使うには

本商品を接続する	19
本商品の設定をする	21
本商品の設定をする	21
電話機能を設定する	23
IP電話の設定をする	25

3 ご使用方法

電話をかけるには（発信）	26
電話をかける（発信）	26
相手がお話し中のとき	27
電話を受けるには（着信）	28
電話を受ける（着信）	28
回線選択について／緊急通報	29
電話番号による回線選択	29
加入電話回線を選択して発信するには	29
緊急通報（110/118/119）発信時の留意事項	29
お話し中にかかってきた電話を受けるには	30
お話し中にかかってきた電話に出る	30
キャッチホン	31
疑似キャッチホン	31
発信者番号の通知と表示	32
かけてきた相手の電話番号を表示するには （ナンバー・ディスプレイ）	33

4 バージョンアップ

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする	34
バージョンアップお知らせ機能とは	34
バージョンアップお知らせ方法	35
バージョンアップ方法	38
当社ホームページからファームウェアを ダウンロードしてバージョンアップする	42
バージョンアップ方法	42
電源のOFF/ON、または再起動でバージョンアップする	44
バージョンアップ方法	44

5 制限事項

ブロードバンドルータ等との接続時の注意事項	46
-----------------------	----

6 Web設定

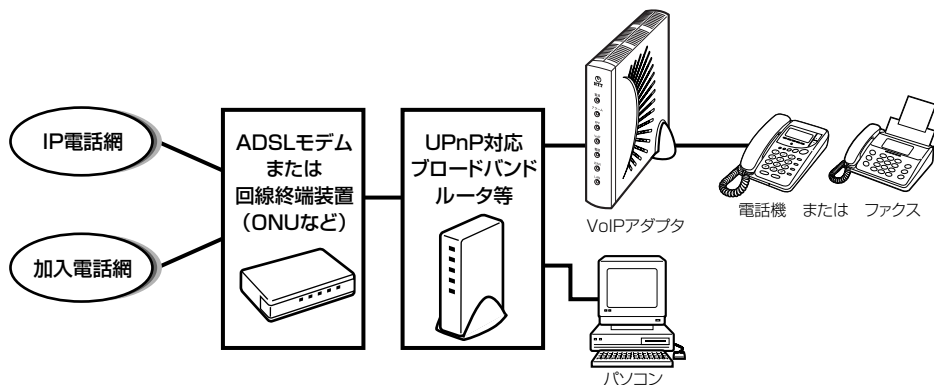
メニュー画面	47
ネットワーク設定	48
PPPoE/IP設定	48
ルータ/アダプタ設定、UPnP使用	50
IP電話設定	51
設定情報を確認する	52
設定情報の確認	52
その他設定	53
システム情報と端末の状態	53
VoIPアダプタを再起動する	56
VoIPアダプタの再起動	56
工場出荷時の設定	57
工場出荷時の設定	57
ファームウェアの更新	58
ファームウェアの更新	58

7 ご参考

ルータモードでご使用の場合は	59
本商品を接続する	60
本商品の設定をする	61
パソコンのネットワーク設定	63
パソコンのセットアップを行う	63
各種サービスについて	64
加入電話回線を選択する電話番号	64
NTTネットワークサービスへの対応について	65
初期化するには	67
故障かな?と思ったら	69
仕様	70
保守サービスのご案内	71

特長

本商品は、UPnP*対応ブロードバンドルータ**に接続してIP電話が可能な電話機アダプタです。IP接続用のインタフェースと加入電話のインタフェースをもち、発信時の電話番号により回線を自動選択できます。



電話機、ファクスなどを接続してIP電話

1台の電話機、ファクスなどを接続して、IP電話、または加入電話による通話が行えます。音声符号化技術を採用し、電話の音声をデジタル形式のデータに変換します。

WANポート（10Base-T／100Base-TXインタフェース）にUPnP対応のブロードバンドルータを接続して使用します。***

電話番号により回線を自動選択

電話番号により、IP電話による発信／加入電話による発信を自動的に選択できます。

緊急ダイヤルは加入電話を自動選択

110、118、119へ電話をかけるときは、加入電話を自動的に選択し、通報できます。

- * UPnP
Universal Plug and Play。XML技術をベースに開発されたネットワーク機器どうしの相互自動認識方式。
- ** 本商品と接続確認のとれたブロードバンドルータに限られます。P46をご覧ください。
- *** ブロードバンドルータに接続して使用する場合を「アダプタモード」と呼びます。ADSLモデム／回線終端装置（ONUなど）のみに接続して使用することもできます。この場合は「ルータモード」と呼びます。



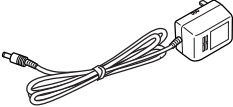
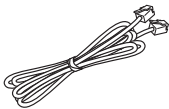




お知らせ

- NTT西日本提供の「フレッツ・光プレミアム」をご利用のお客は、ブロードバンドルータを加入者網終端装置（CTU）と置き換えてお読みください。

セットを確認してください

● 構成品

<p>① VoIPアダプタ (1台)</p> 	<p>② スタンド (1台)</p> 	<p>③ 電源アダプタ (1個)</p> 
<p>④ 電話機コード (1本：約1.8m)</p> 	<p>⑤ LANケーブル (ストレート) (1本：約1.8m)</p> 	<p>⑥ 取扱説明書 (1冊)</p> 
<p>⑦ NTT通信機器お取扱相談センターシール (1枚) ⑧ IP電話サービスをご利用のお客様へ (1枚) ⑨ IP電話かんたん接続 (1枚) ⑩ 保証書 (1枚)</p>		

● お客様にご用意いただくもの

- ・電話機*1 またはファクス*2
- ・電話機コード
- ・パソコン
- ・10BASE-Tまたは10/100BASE-T (推奨) に対応したLANカード

*1 ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等には接続できません。

*2 IP電話を用いてファクスやアナログモデム通信の送受信を行うと失敗する場合があります。失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して利用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手の電話番号の前に「0000」(ゼロを4個)を付与して加入電話をご利用ください。

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

※アース線は添付していません。

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
に
は
1
P
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

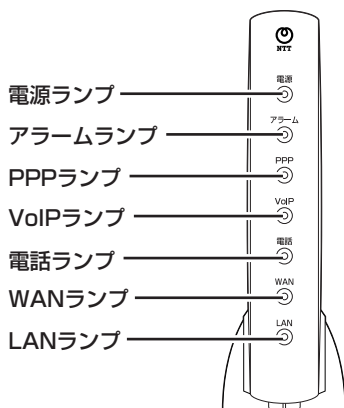
5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

各部の名前

【前面】



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプのつき方 (色)	本商品の状態
電源ランプ	点灯 (緑)	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
アラームランプ	点灯 (緑)	故障1が発生したとき
	点滅 (緑)	故障2が発生したとき、およびファームウェアの更新中*1
	消灯	正常な状態
PPPランプ *2	点灯 (緑)	VoIPアダプタ側でPPP接続しているとき
	点滅 (緑)	VoIPアダプタ側でPPP接続の手続きをしているとき
	消灯	PPP切断状態
VoIPランプ	点灯 (緑)	IP電話が可能なとき
	点滅 (緑)	IP電話で通話中／着信中／呼出中
	消灯	IP電話ができないとき*3
電話ランプ	点灯 (緑)	加入電話で通話が可能なとき*4
	点滅 (緑)	加入電話で通話中／着信中／呼出中
	消灯	加入電話が利用できないとき*5
WANランプ	点灯 (緑)	WANポートでデータ通信が可能なとき (リンク確立)
	点滅 (緑)	WANポートでデータ通信をしているとき
	消灯	WANポートでデータ通信ができないとき
LANランプ	点灯 (緑)	LANポートでデータ通信が可能なとき (リンク確立)
	点滅 (緑)	LANポートでデータ通信をしているとき
	消灯	LANポートでデータ通信が利用できないとき

故障1： ハードウェアのエラーです。当社の相談センターにご連絡ください。

故障2： ファームウェアが壊れている可能性があります。

P42の「バージョンアップ方法」で、ファームウェアをダウンロードすることにより復旧させることができます。ファームウェアのダウンロードが正常に行われない場合は、当社の相談センターにご連絡ください。

ファームウェアの更新中は、アラームランプが約30秒間点滅します。

*1 PPPランプは、ルータモードでご使用の場合のみ有効となります。

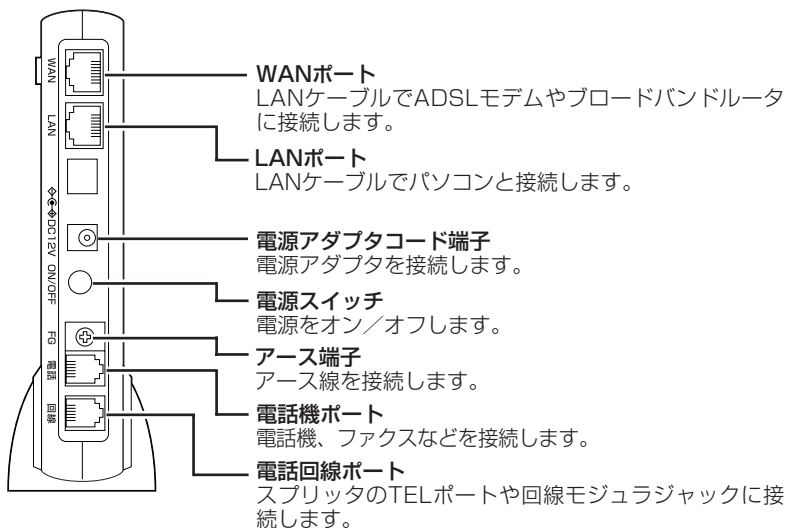
*2 PPPランプは、ルータモードでPPPランプが消えているときは、IP電話は利用できません。

*3 アダプタモードでは、接続しているブロードバンドルータでPPPが切断されている場合は、IP電話が利用できません。

*4 停電中は電話ランプは消灯しますが、加入電話で通話が可能です。

*5 WANポートのケーブルが外れているか、通信できないときは電話ランプが消灯しますが、加入電話が利用できる場合があります。

【背面】



1
前に
お使
い
に
な
る

2
には
1P
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

初期設定を行うには

ブロードバンドルータに接続して使用する場合を「アダプタモード」と呼びます。ADSLモデム／回線終端装置（ONUなど）のみに接続して使用することもできます。この場合は「ルータモード」と呼びます。

使用環境に合わせた設定方法

ここではアダプタモードでの設定方法を説明します。

ブロードバンドルータは、加入者網終端装置（NTT西日本フレッツ・光プレミアム）、ADSLモデム内蔵ルータを含みます。

ルータモードでの設定方法はP59を参照してください。

ブロードバンドルータのUPnP機能を有効にする
(お客様ご利用のブロードバンドルータの取扱説明書をご参照のうえ、設定してください)

本商品を接続する (●P19)

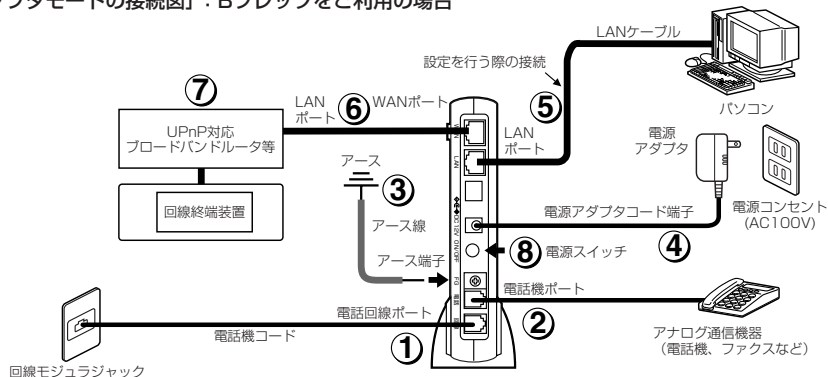
本商品の設定をする (●P21)

IP電話の設定をする (●P25)

本商品を接続する

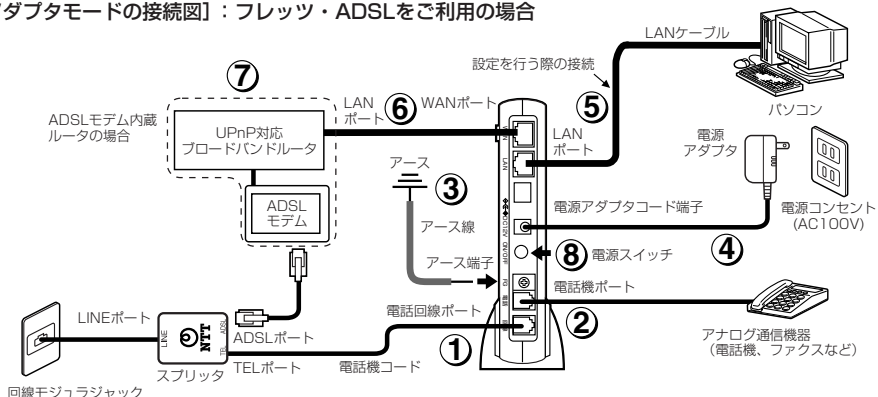
アダプタモードでご利用の場合、本商品は次のように接続します。

[アダプタモードの接続図]：Bフレッツをご利用の場合



※NTT西日本提供の「フレッツ・光プレミアム」をご利用のお客様は、ブロードバンドルータを加入者網終端装置（CTU）と置き換えてお読みください。

[アダプタモードの接続図]：フレッツ・ADSLをご利用の場合



(次ページに続く)

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
に
は
IP
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
バ
イ
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

本商品を接続する

- ① Bフレッツをご利用の場合は、回線モジュラジャックと電話回線ポートを電話機コードで直接接続します。
フレッツ・ADSLをご利用の場合は、本商品の電話回線ポートとスプリッタのTELポートを接続し、スプリッタのLINEポートと回線モジュラジャックを接続します。
- ② 本商品の電話機ポートに、ご使用中の電話機、ファクスなどを接続します。
- ③ 本商品のアース端子にアース線を接続します。
※アース線は別途ご用意ください。
- ④ 付属の電源アダプタで、本商品の電源アダプタコード端子と電源コンセントを接続します。
- ⑤ 本商品のLANポートにパソコンを接続します。
※設定終了後、ブロードバンドルータのLANポートにパソコンをつなぎ変えてください。
その後、パソコンを再起動してください。
- ⑥ 本商品のWANポートにブロードバンドルータを接続します。
※接続するブロードバンドルータはUPnP対応であることが必要です。
- ⑦ ブロードバンドルータの電源をONにします。
- ⑧ ブロードバンドルータの起動完了後、本商品の電源スイッチを押し、電源をONにします。
アラームランプ、PPPランプ、VoIPランプ、電話ランプが約10秒間点灯した後、消灯するまでお待ちください。
※電源をONにしたとき、ファームウェアの確認を行うため、起動完了まで時間がかかる場合があります。



お知らせ

- ルータモードをご利用の場合は7章（●P59）をご参照ください。
- ブロードバンドルータ等の設定を変更したときは、本商品の電源を入れ直し、その後パソコンを再起動してください。
- ブロードバンドルータに接続する場合、設定終了後、VoIPランプが点灯しないときは、ブロードバンドルータ、および本商品の電源を切り、再度、ブロードバンドルータ、本商品の順に電源を入れ直し、その後パソコンを再起動してください。
- 本商品の電源を入れ直したときや、設定時に自動的に再起動した場合は、パソコンを再起動してください。
- 本商品の再起動中は電話を使用しないでください。再起動中に着信があった場合は、P56を参照して本商品をもう一度再起動してください。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。

本商品の設定をする

1 本商品のLANポートに接続したパソコンでWebブラウザ（Internet Explorer）を起動する。

Internet Explorer以外のWebブラウザでは、初期設定が行えません。
Internet Explorerは、Ver.6.0（SP2）以降を使用してください。

2 アドレスバーに「<http://192.168.100.1>*¹」と入力し、[Enter] キーを押す*²。

- ※1 LANポートのIPアドレスは、お買い求めの時には [192.168.100.1] となっています。ネットワーク設定のルータ/アダプタ設定でLANポートのIPアドレスを変更している場合は、変更したIPアドレスを入力してください。
- ※2 画面上に警告文が出るときは、WAN側とLAN側のIPアドレスが競合している可能性があります。この場合は、ネットワーク設定の「ルータ/アダプタ設定」（●P50）で、LANポートのIPアドレスを変更してください。
LANポートのIPアドレスは、お買い求めの時には [192.168.100.1] となっていますので、[192.168.101.1] 等に変更してから再度本ページの手順1から実施し、警告文が出ないことを確認してください。LANポートのIPアドレスを変更した場合はパソコンの再起動を行ってください。

本商品の設定をする

3 [ユーザ名] に「root」、[パスワード] と [パスワード再入力] に任意のパスワードを入力し、[ログイン] をクリックする。

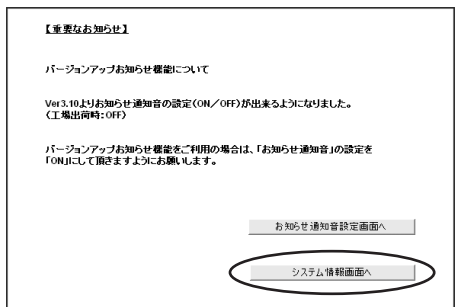
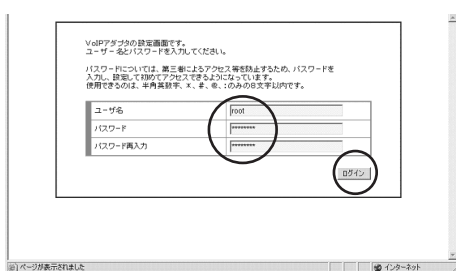
・工場出荷状態からはじめてログインする場合、パスワードを設定する必要があります。

パスワードは任意の半角英数字、*、#、@、:のみの8文字以内です。

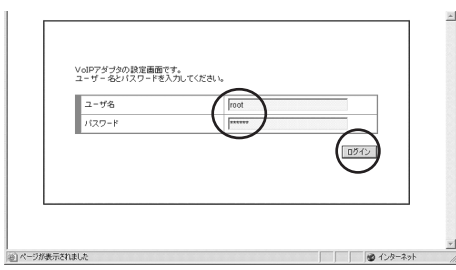
・ログインすると右記の画面が表示されますので「システム情報画面へ」をクリックしてください。

お知らせ通知音の (ON/OFF) 設定が可能です。詳しくはP35を参照してください。

工場出荷時は、「お知らせ通知音」が「OFF」になっておりますので、バージョンアップお知らせ機能をご利用される場合は、「お知らせ通知音設定画面へ」を選択し、お知らせ通知音を「ON」に設定してください。



・パスワードの設定後にログインする場合、[ユーザ名] に「root」を、[パスワード] に設定したパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。システム情報画面が表示されます。



お知らせ

- 設定画面が起動できない場合は、パソコンのネットワーク設定を確認してください。(P63)
- 本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェック等のソフトウェアは終了させてください。動作させたまましていると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。設定後は、元に戻してください。
- パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

電話機能を設定する

4 メニュー画面で、[IP電話設定] をクリックする。

下に表示される [IP電話設定] をクリックし、以下の項目を入力する。

・【ナンバー・ディスプレイ】

ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスなどを接続する場合は、[使用する] を選択してください。

・【キャッチホンサービスの有無と割り込み音の有無】

キャッチホンおよび割り込み音の設定をします。詳しくはP31を参照してください。

・【電話回線の種別】

ご利用になる電話機のダイヤル種別は、必ず回線のダイヤル種別に合わせて設定してください。

電話機のダイヤル種別と回線のダイヤル種別が異なっている場合は、停電時に電話がかけられないことがあります。

・【IP電話利用時の番号通知】

通常ダイヤル時に、発信者番号を通知するかしないかを選択してください。

・【ダイヤル桁間タイマ】

ダイヤルを入力してから発信までの時間を設定してください。

・【お知らせ通知音】

お知らせ通知音の設定をしてください。詳しくはP35を参照してください。

ネットワーク設定
IP電話設定
IP電話設定
設定情報の確認
その他設定
VoIPアダプタの再起動
工場出荷時の設定
ファームウェアの更新

システム情報

現在のファームウェア名: F01P03_SIP_V000BIN
ファームウェアバージョン: Fw 310

現在の状態

IP: 登録に失敗しました。設定情報に誤りがあります。

ネットワーク設定
IP電話設定
IP電話設定
設定情報の確認
その他設定
VoIPアダプタの再起動
工場出荷時の設定
ファームウェアの更新

IP電話設定

ナンバー・ディスプレイ	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する
キャッチホンサービスの有無と割り込み音の有無	<input checked="" type="radio"/> キャッチホン・割り込み音あり <input type="radio"/> キャッチホン・割り込み音なし <input type="radio"/> キャッチホン・割り込み音なし
電話回線の種別	<input checked="" type="radio"/> 10 pps <input type="radio"/> 20 pps <input type="radio"/> PB
IP電話利用時の番号通知	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
ダイヤル桁間タイマ	<input type="radio"/> 4秒 <input type="radio"/> 5秒 <input type="radio"/> 6秒 <input type="radio"/> 7秒 <input type="radio"/> 8秒
お知らせ通知音	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

【ご注意】
1) システムアップ時に必ず接続先で利用が可能な「設定情報の確認」のアップデータURLに
http://www.cnetco.jp/を入力する必要があります。
なお、「お知らせ通知音」がOFFの場合にのみ変更した場合は、上記URLの自動入力されます。

設定変更

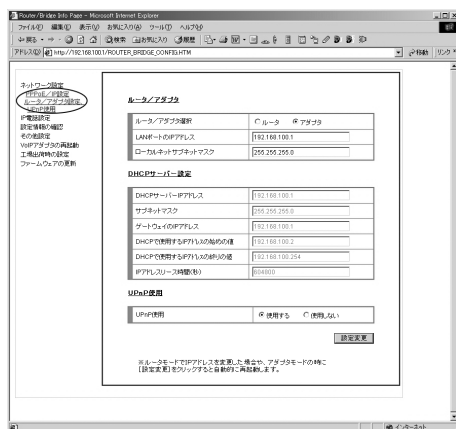
お知らせ

- 加入電話回線の契約内容を変更された場合は、あわせて該当項目の設定変更を行ってください。

(次ページに続く)

本商品の設定をする

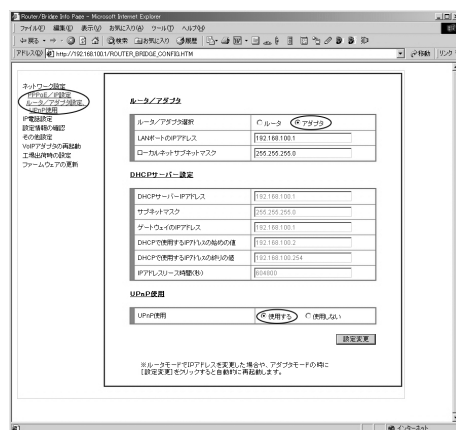
5 メニュー画面で【ネットワーク設定】の【ルータ/アダプタ設定、UPnP使用】をクリックする。



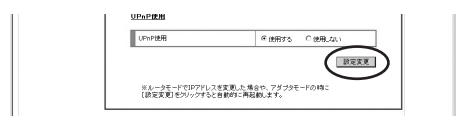
6 【ルータ/アダプタ選択】で【アダプタ】を確認し、【UPnP使用】で【使用する】を確認する。

※IPアドレスは、通常は初期状態でご使用ください。

※お買い求めのときには、アダプタモードに設定されています。



7 【設定変更】をクリックする。



IP電話の設定をする

IP電話をご利用いただくためには、別途プロバイダとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。

IP電話の設定方法は各プロバイダのIP電話サービスにより異なりますので、ご契約のプロバイダのホームページなどでご確認のうえ、設定を行ってください。なお、本商品の「対応プロバイダ」が提供するIP電話サービスのホームページへは、以下のフレッツ公式ホームページからアクセスが可能です。

【NTT 東日本】 <http://fleets.com/ipphone/>

【NTT 西日本】 <http://fleets-w.com/ipphone/>

本商品へのIP電話設定は、プロバイダのホームページなどから自動的に行うことができます。その際、ネットワークパスワードの入力が必要になります。P22の手順3で設定したパスワードを入力してください。

また、プロバイダによっては、別途プロバイダから送付された設定情報を本商品の設定画面から入力していただく必要があります。IP電話サービスを受けるための設定を本商品に対して行うようにプロバイダから指示されている場合のみ、P51「IP電話設定」の記載に従って各項目の設定を行ってください。

(注) 設定完了後、VoIPランプが緑点灯すればIP電話がご使用可能となります。VoIPランプが消灯している場合は、IP電話設定に誤りがありますので、再度設定をご確認ください。

1
前
に
お
使
い
に
な
る2
に
は
1
P
電
話
を
使
う3
ご
使
用
方
法4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ5
制
限
事
項6
W
e
b
設
定7
ご
参
考

お願い

- IP電話の設定は、必ずブロードバンドルータがインターネットに接続した後に実施してください。
- プロバイダのWeb ページに記載されている指示に従ってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、プロバイダの指示に従ってください。なお、自動的に設定された内容もIP電話設定の画面で表示されますが、記入されている内容の変更を行わないでください。IP電話機能が使用できなくなります。

電話をかけるには（発信）

本商品に接続した電話機、ファクスなどから、IP電話や加入電話を使用して電話をかけたり、ファクスを送信することができます。

電話をかける（発信）

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。



2 電話番号を押す。



3 呼出音が聞こえる。

4 相手の方が出たらお話しする。



5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。



ワンポイント

- ダイヤルした番号やIP電話サービスのサービス内容により、IP電話と加入電話が自動選択されます。
- IP電話として発信している場合は呼出音の前に「ブブブ」という断続音が約1秒聞こえます。（通話料はプロバイダから請求されます。）
- 加入電話として発信している場合は呼出音のみが聞こえるか、または呼出音の前に「ブブブ」という断続音と「ブー」という音が聞こえます。（通話料は、NTT等接続された電話会社から請求されます。）
- 手順1で、「ツー」という音の代わりに「ピーピーピーツー」が聞こえる場合は、最新版ファームウェアが公開されています。4章「バージョンアップ」（●P34）を参照のうえ、バージョンアップを実施してください。

相手がお話し中のとき

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる。

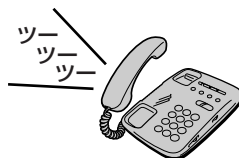
「ツー」 という発音音が聞こえます。



2 電話番号を押す。



3 「ツーツーツー」という音が聞こえる。



4 ハンドセット（受話器）を置いて、しばらくたってからかけ直す。



1
前に
お使
いにな
る

2
には
1P電
話を使
う

3
ご使
用方
法

4
バー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
Web
設
定

7
ご
参
考

お知らせ

- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセット（受話器）を置いたままダイヤルする機能）を用いる等の操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。

電話を受けるには（着信）

電話を受ける（着信）

1 着信音が鳴る。



2 ハンドセット（受話器）を取り上げて、相手の方とお話する。



3 お話が終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。



お知らせ

- 本商品のナンバー・ディスプレイの設定が「あり」、電話機のナンバー・ディスプレイの設定が「なし」の状態では着信があると、はじめに短い着信音が5～6回鳴り、このとき電話に出ると電話が切れてしまいます。本商品と電話機の設定を確認してください。

電話番号による回線選択

1で始まる3桁番号（※）やIP電話サービスのサービス対象外の電話番号などをダイヤルした場合は加入電話としての発信になります。

（※「加入電話回線を選択する電話番号」（P64）を参照してください。）

加入電話回線を選択して発信するには

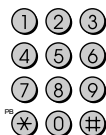
加入電話回線を選択してご利用になりたい場合

1 電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる。

「ツーン」という発着音が聞こえます。



2 「0000」のあとに電話番号を押す。



3 呼出音が聞こえる。

4 相手の方が出たらお話しする。



5 お話しが終わったら、ハンドセット（受話器）を置く。



ワンポイント

- マイライン(マイラインプラス)をご利用になる場合は、電話番号の先頭に「0000」（ゼロを4回）付けてから、通常の発信方法で発信してください。この場合、通話料金はマイライン（マイラインプラス）に登録している電話会社から請求されます。

緊急通報（110/118/119）発信時の留意事項

緊急通報（110/118/119）は必ず加入電話として発信されます。

（注1）本商品に加入電話回線が接続されていない場合は通話できません。

（注2）緊急通報後は、本商品の再起動が必要になります。

お話し中にかかってきた電話を受けるには

お話し中にかかってきた電話に出る

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

- 1** お話し中に「ブップッ……」という着信音が聞こえる。



- 2** 相手の方に伝え、フッキングする。

最初にお話ししていた方との通話は終了します。



- 3** あとからかけてきた方とお話します。



- IP電話設定の「キャッチホンサービスの有無と割り込み音の有無」の設定（▶P51）により、次ページようになります。

キャッチホン

キャッチホンサービスをご利用の場合は、「キャッチホン契約あり、割り込み音あり」の設定により今までと同じ操作でキャッチホンがご利用になれます。

疑似キャッチホン

IP電話で通話中に加入電話からの着信があった場合に応答することができます。

●キャッチホン設定で【キャッチホン契約あり 割り込み音あり】を選択した場合

通話状態 話中状態	IP電話中	加入電話通話中
IP電話からの着信	お話し中	お話し中
加入電話からの着信	電話ランプが点滅し、割り込み音が聞こえます。 フッキングでIP電話を切断してから、加入電話の通話に切り替わります。	割り込み音が聞こえ、フッキングで着信に応答できます。再度フッキングすると、元の相手との通話となります。 (NTTキャッチホンサービス) *

*ご使用の加入電話がキャッチホンサービスの契約をしている場合

●キャッチホン設定で【キャッチホン契約なし 割り込み音あり】を選択した場合

通話状態 話中状態	IP電話中	加入電話通話中
IP電話からの着信	お話し中	お話し中
加入電話からの着信	電話ランプが点滅し、割り込み音が聞こえます。 フッキングでIP電話を切断してから、加入電話の通話に切り替わります。	お話し中

●キャッチホン設定で【キャッチホン契約なし 割り込み音なし】を選択した場合

通話状態 話中状態	IP電話中	加入電話通話中
IP電話からの着信	お話し中	お話し中
加入電話からの着信	着信をお知らせしません。 相手の方には、呼出音が聞こえます。	お話し中

割り込み音：「ブルルブルル、ブルルブルル」という音が聞こえます。フッキングにより現在の通話を切断し、かかってきた通話に切り替えることができます。

発信者番号の通知と表示

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。

■ 通知される電話番号

IP電話で発信した場合は、IP電話番号が通知されます。加入電話で発信した場合は、加入電話番号が通知されます。

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、加入電話、IP電話へ発信する場合でそれぞれ以下のような条件になります。

1. IP電話として発信する場合

● IP電話の発信時番号通知設定

IP電話の発信時番号通知設定は、通知する／通知しないの設定の選択ができます。工場出荷時には「通知する」の設定となっています。

● 発信時のダイヤル操作

発信者番号通知設定	ダイヤル操作		
	相手番号（通常の操作）	184+相手番号	186+相手番号
通知	○	×	○
非通知	×	×	○

○：通知する ×：通知しない

2. 加入電話として発信する場合

● 加入電話回線ご契約時の内容

加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	ダイヤル操作		
	0000+相手番号	「0000+184+相手番号」	「0000+186+相手番号」
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する ×：通知しない



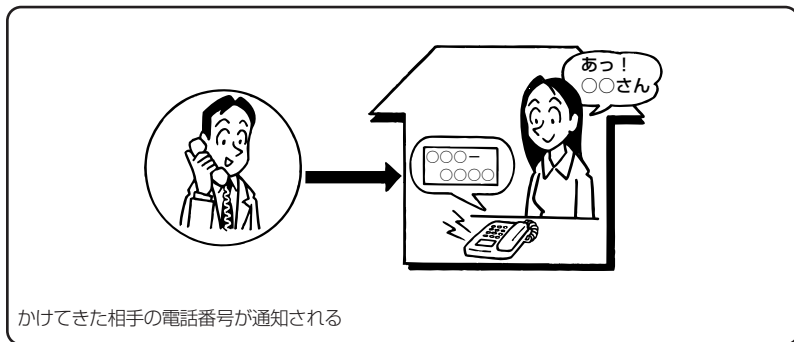
お知らせ

- IP電話へ発信して、ダイヤルした番号がIP電話サービスの対象外で自動的に加入電話へ再発信する場合は、加入電話回線のご契約の通常通知、または通常非通知の条件で発信となります。

かけてきた相手の電話番号を表示するには（ナンバー・ディスプレイ）

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。

かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

加入電話への着信時に発信者番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

なお、IP電話番号への着信時に発信者番号を表示するには、ナンバー・ディスプレイの契約は不要です。（表示可否は、ご契約されたIP電話サービスのサービス内容によります。）

● 必要な設定

①電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。

②接続した電話機のナンバー・ディスプレイ発信者番号通知設定を行います。

③本商品の「IP電話設定」の「ナンバー・ディスプレイ」を「使用する」に設定します。（▶P51）



お知らせ

- 電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- 電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- IP電話で着信中に加入電話の着信があった場合、ナンバー・ディスプレイサービスに契約されていても、加入電話からの発信者番号を表示することはできません。

1 お使いになる

2 IP電話を使う

3 ご使用方法

4 パーティションアップ

5 制限事項

6 Web設定

7 ご参考

バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品をバージョンアップ（ファームウェアの更新）する方法は、下記の3通りがあります。

- ・バージョンアップお知らせ機能を利用する
- ・当社のホームページからファームウェアをダウンロードする（☛P42）
- ・電源のOFF/ON、または再起動でバージョンアップする（☛P44）

バージョンアップお知らせ機能とは

本機能は、本商品が定期的に（1日1回）、インターネット上の当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新ファームウェアの有無を自動確認する機能です。

最新ファームウェアがあることを確認した場合は、以下の方法でお客様に通知します。

(1) 電話機からの音でお知らせする

本商品に接続された電話機のハンドセット（受話器）を取りあげた際に通知音にてお知らせいたします。

（「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音（DT音）の前に送出されます。）

ただし、工場出荷時は通知音の設定が「OFF」となっております。通知音によるお知らせを希望する場合には、設定を「ON」にして頂きますようお願いいたします。

お知らせ通知音の設定方法についてはP35をご参照ください。

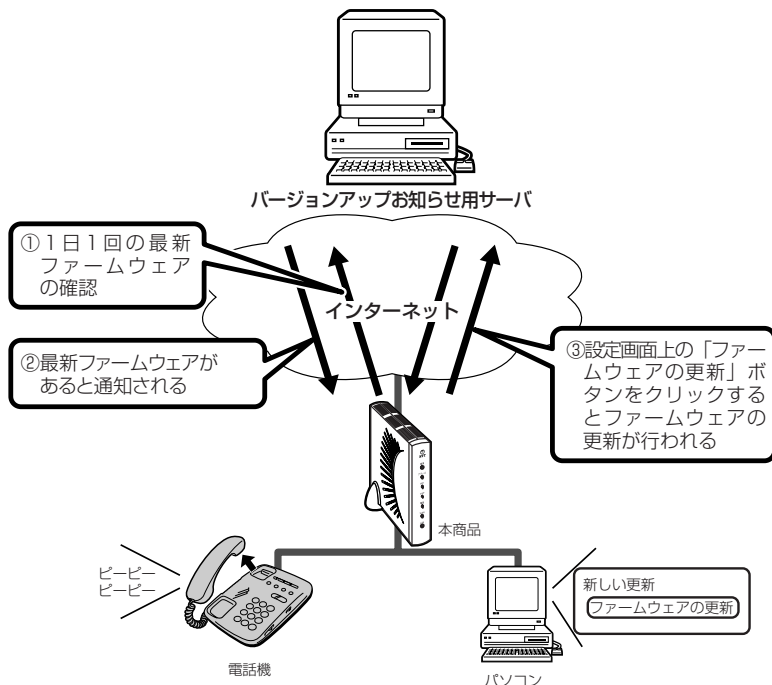
(2) 設定画面でお知らせする

■Webブラウザでログインしたとき

・Webブラウザで本商品へログインした際に表示される設定画面に確認結果を表示します。

■設定画面の「状態表示」でお知らせする

（「自動アップデート」の欄に「新しい更新があります」と表示されます。）



バージョンアップお知らせ方法

(1) 電話機からの音でお知らせする

電話機のハンドセット（受話器）を取りあげると「ピーピーピーピー」という通知音が「ツー」という音の前に送られます。

ただし、工場出荷時は通知音の設定が「OFF」となっております。通知音によるお知らせを希望する場合には、設定を「ON」にして頂きますようお願いいたします。

お知らせ通知音の設定方法については下記をご参照ください。

①電話機（またはファクス）のハンドセット

②「ピーピーピーピー」という音が「ツー」という音（DT音）の前に送られます。

（受話器）を取りあげる

という音（DT音）の前に送られます。



お知らせ通知音の設定方法について

メニュー画面で「IP電話設定」をクリックする。お知らせ通知音の設定を「ON」を選択し、「設定変更」をクリックしてください。

IP電話設定	
ナンバーディスプレイ	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
キャッチホンサービスの有無と 呼び込み音の有無	<input type="radio"/> キャッチホン契約なし/呼び込み音あり <input checked="" type="radio"/> キャッチホン契約なし/呼び込み音なし <input type="radio"/> キャッチホン契約なし/呼び込み音なし
電話回線の種別	<input type="radio"/> 10 pps <input type="radio"/> 20 pps <input checked="" type="radio"/> PB
IP電話利用時の番号通知	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
ダイヤル相続タイム	<input checked="" type="radio"/> 4秒 <input type="radio"/> 5秒 <input type="radio"/> 6秒 <input type="radio"/> 7秒 <input type="radio"/> 8秒
お知らせ通知音	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

【ご注意】
バージョンアップお知らせ機能をご利用の際は、「設定情報の確認」の「アップデートURL」に「http://www.cpeinfo.jp」を入力する必要があります。
なお、「お知らせ通知音」を「OFF」から「ON」に変更した場合は、上記URLが自動的に入力されます。

設定変更

<ご注意>

バージョンアップお知らせ機能は、アップデートURLに「http://www.cpeinfo.jp」が入力されていることが必要となりますので、お知らせ通知音の設定が「ON」だけでは動作いたしません。（工場出荷時はURLは入力済）

「設定情報の確認」にて「アップデートURL」が入力されているかご確認ください。なお、「お知らせ通知音」を「OFF」から「ON」に変更した場合は、上記URLが自動的に入力されます。

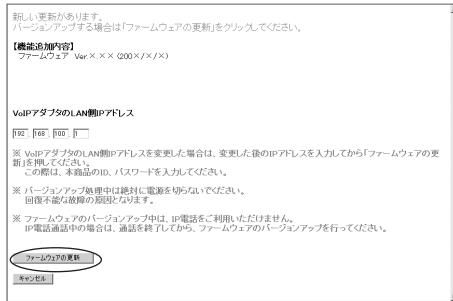


ワンポイント

- 発信操作は通常と変わりません。そのままダイヤルしてください。
- ファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

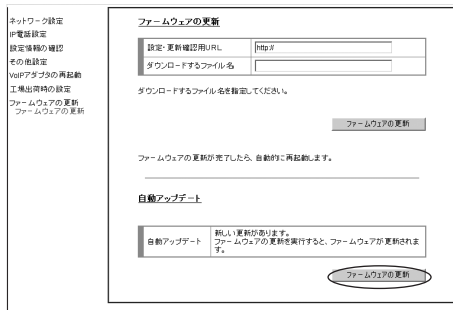
(2) 設定画面でお知らせする

① 本商品のLANポートに接続したパソコンからWebブラウザを起動し、本商品の設定画面に入ります。下図のような画面が表示された場合は、機能向上内容をお読みになってから、バージョンアップを行う場合は「ファームウェアの更新」をクリックしてください。ダウンロードの画面に変わりますので、画面の説明に従って操作してください。



- ・ファームウェアを更新する場合は「ファームウェアの更新」をクリックします。ダウンロードの画面に変わりますので、画面の説明に従って操作してください。後は本商品が自動的にファームウェアをダウンロードし、再起動します。
- ・ファームウェアを更新しない場合は「キャンセル」をクリックします。本商品の設定画面に戻ります。

② 本商品のLANポートに接続したパソコンからWebブラウザを起動して、本商品の設定に入った場合、ファームウェアの更新があり、インターネットが利用できる場合には更新内容の確認画面が表示されます。



- ・ファームウェアを更新する場合は「ファームウェアの更新」をクリックします。ダウンロードの画面に変わりますので、画面の説明に従って操作してください。後は本商品が自動的にファームウェアをダウンロードし、再起動します。

■ファームウェアの更新の有無を手動で確認する場合

ファームウェアの更新の有無を次の操作でお客様が知ることができます。

- ・ 本商品のLANポートに接続したパソコンからWebブラウザを起動し、本商品の設定に入ります。メニュー画面で「ファームウェアの更新」をクリックし、下に表示される「ファームウェアの更新」をクリックします。

ネットワーク設定
IP電話設定
設定情報の確認
その他設定
VoIPアダプタの再起動
工場出荷時の設定
ファームウェアの更新
ファームウェアの更新

ファームウェアの更新

設定:更新確認URL
ダウンロードするファイル名

ダウンロードするファイル名を指定してください。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新が完了したら、自動的に再起動します。

自動アップデート

自動アップデート

更新確認

- ・ [自動アップデート] 画面で「更新確認」をクリックします。確認のためしばらく時間がかかりますので、そのままお待ちください。
- ・ 新しい更新がない場合は「新しい更新はありません。」が表示されます。新しい更新がある場合は、「バージョンアップ方法」をご参照ください。(P38)

STOP お願い

- ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

バージョンアップ方法

バージョンアップお知らせ機能により、ファームウェア更新情報が確認できたときは、以下の手順でバージョンアップを行ってください。

■ 「新しい更新があります。」と表示される場合

ファームウェア更新情報があります。「ファームウェアの更新」をクリックすると、最新ファームウェアへのバージョンアップが開始されます。

ネットワーク設定 IP電話設定 設定後継の確認 その他設定 VoIPアダプタの再起動 工場出荷時の録音 ファームウェアの更新 ファームウェアの更新	ファームウェアの更新 設定・更新確認URL <input type="text" value="http://"/> ダウンロードするファイル名 <input type="text"/> ダウンロードするファイル名を指定してください。 <input type="button" value="ファームウェアの更新"/> ファームウェアの更新が完了したら、自動的に再起動します。 自動アップデート <input type="checkbox"/> 自動アップデート <input type="checkbox"/> 新しく更新があります。ファームウェアの更新を実行すると、ファームウェアが更新されます。 <input type="button" value="ファームウェアの更新"/>
--	--

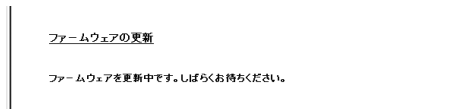
● バージョンアップを行う前に

バージョンアップによって追加や変更になる機能等については、事前に当社ホームページのバージョンアップ情報で確認してからバージョンアップを行ってください。

 **注意**

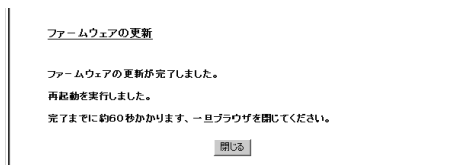
- バージョンアップ処理中は絶対に電源を切らないでください。回復不能故障の原因となります。
- ファームウェアのバージョンアップ中は、IP電話をご利用いただけません。IP電話通話中の場合は、通話を終了してから、ファームウェアのバージョンアップを行ってください。

ファームウェアをダウンロード中は下記の画面が表示されます。

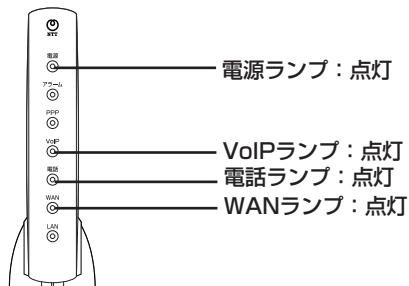


作業が完了するまで電源を切らないでください。

ファームウェアをダウンロード後は再起動が始まり、下記の画面に切り替わります。



本商品のランプの状態がファームウェア更新前と同じ状態になれば、ファームウェアの更新は完了です。



本商品のLANポートからパソコンのLANケーブルを抜き、元のようにブロードバンドルータ等へ接続してください（ブロードバンドルータ等にパソコンを接続されて使用されている場合）。

(次ページに続く)

⚠ 注意

- ファームウェア更新後も、設定値が保存されるように設計されておりますが、念のため、後で再設定できるように、ID、パスワード等の設定内容をメモしてからバージョンアップを行ってください。パスワードは「*****」のような表示に変換されますのでご注意ください。また、バージョンアップ終了後に本商品が自動的に再起動しますのでバージョンアップ中の通話は行わないでください。
- ファームウェアのバージョンアップ中及び起動直後は絶対に本商品の電源を切らないでください。本商品が起動できなくなり、使用できなくなる場合があります。
- ファームウェアのバージョンアップは、必ず通話が終了してから実行してください。また、ファームウェアのバージョンアップ中は本商品を介した通信ができなくなりますので、通話を行う際には、モジュラジャックの電話機コードに電話機を直接接続してください。

- ・「更新確認」をクリックしてから一定時間経過しても確認ができなかった場合、「更新の確認に失敗しました。」が表示されます。

ネットワーク設定
IP電話設定
設定情報の確認
その他設定
iUPアダプタの再起動
工場出荷時の設定
ファームウェアの更新
ファームウェアの更新

ファームウェアの更新

設定更新確認URL

ダウンロードするファイル名

ダウンロードするファイル名を指定してください。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新が完了したら、自動的に再起動します。

自動アップグレード

自動アップグレード

更新確認



ワンポイント

- ファームウェアの確認は1日1回なのでファームウェア提供のタイミングによっては、最新の情報が表示されない場合があります。その場合は「更新確認」ボタンをクリックし、最新状態を確認してください。
- ネットワークやサーバの状態によっては、更新に失敗することがあります。

●電話機からファームウェアを更新する場合

ファームウェアの更新があり、更新を行う場合、次の操作でファームウェアを更新することができます。

本商品に接続している電話機のハンドセット（受話器）を取りあげた時、発信音の前に「ピーピーピー」という音が聞こえたら、「***11」（注）をダイヤルします。

ダイヤル後「ブブブブブ・・・」という連続した音が聞こえたらハンドセット（受話器）を戻してください。本商品が自動的にファームウェアをダウンロードし、再起動します。

注：お使いの電話回線種別がダイヤル回線の場合には「PB切替」操作を行ってからダイヤルしてください。



お知らせ

- 「バージョンアップお知らせ機能」を停止したい場合は、「IP電話サービスの設定値」の「アップデートURL」を空欄にすると停止できます。なお、お知らせ通知音の設定を「OFF」にして頂いただけでは、「バージョンアップお知らせ機能」は停止されません。
- ファームウェアの更新中はIP電話をご利用できません。
- ファームウェアの更新を実行した場合、設定情報は保存されていますが、現状の設定値を保存しておくことをおすすめします。
- 本商品の機能が追加され、取扱説明書等の記載事項に変更・追加が生じた場合、それらも更新され、当社のホームページに公開されます。
最新の取扱説明書等が必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。



お願い

- ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

当社ホームページからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップする

当社のホームページからファームウェアをダウンロードして本商品をバージョンアップする方法を説明します。

(注) バージョンアップの時期・方法などにつきましては、以下のホームページをご確認ください。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/

：http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

バージョンアップ方法

●事前準備

1 本商品がインターネットに接続していることを確認する。

ブロードバンドルータ等のLANポートに接続したパソコンからインターネットにアクセスすることで確認できます。

(インターネットに接続した状態でないと、バージョンアップできません。)

2 パソコンに接続されているLANケーブルをブロードバンドルータ等から外し、本商品の「LANポート」に接続し直してください(ブロードバンドルータ等にパソコンを接続して使用している場合)。

Webブラウザから「http://192.168.100.1/」に接続してください。(LANポートのIPアドレスを変更しているお客様は、変更後のIPアドレスを入力してください。)

接続する際のパソコンの設定については、「パソコンのネットワーク設定」をご覧ください。(●P63)

●バージョンアップ手順

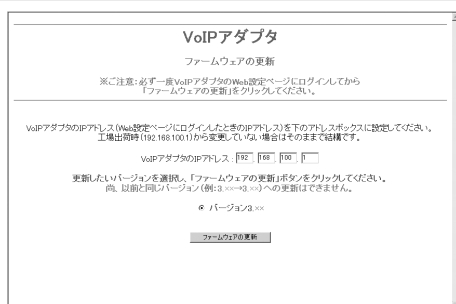
3 Web設定画面を閉じずに引き続き、ファームウェア更新ページにアクセスする。

画面の指示に従い、バージョンアップを完了させてください。

ファームウェア更新ページ：

http://web116.jp/ced/

http://www.ntt-west.co.jp/kiki/



4 バージョンアップ完了後は、以下の画面が表示された後、自動的に再起動する。

再起動が終了するまでお待ちください。再起動が完了すると前面のランプが一瞬全て点灯します。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新が完了しました。

再起動を実行しました。

完了までに約60秒かかります。一旦ブラウザを閉じてください。

閉じる

5 「6 Web設定」の「システム情報と端末の状態」において、最新バージョンに変更されたかを確認する。

バージョンを確認したら、本商品のLANポートからパソコンのLANケーブルを抜き、元のようにブロードバンドルータ等へ接続してください。

お知らせ

- 設定内容はバージョンアップ後も引き継がれますが、万一の場合に備え、メモを残されることをおすすめします。
(なお、パスワードは「****」のような表示に変換されますので、パスワード設定時にパスワードをメモに記入しておくことをおすすめします。)

バージョンアップ方法

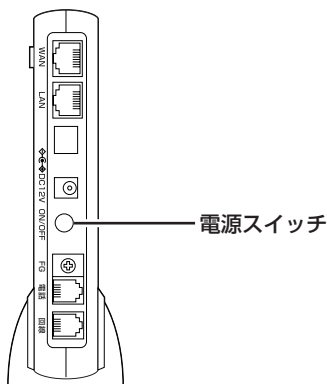
(1) 電源のOFF/ONによるバージョンアップについて

本商品の背面の電源スイッチをOFF、再度ONにして頂いた場合、最新ファームウェアの有無を確認し、最新ファームウェアがあれば、自動的にバージョンアップを行ないます。なお、この際、お知らせ通知音によるお知らせは行ないません。

※本商品がインターネットに接続されている必要があります。

ブロードバンドルータ等のLANポートに接続したパソコンからインターネットにアクセスすることで確認できます。

※自動バージョンアップするためには、「アップデートURL」に「<http://www.cpeinfo.jp>」が入力されている必要があります。



【背面】

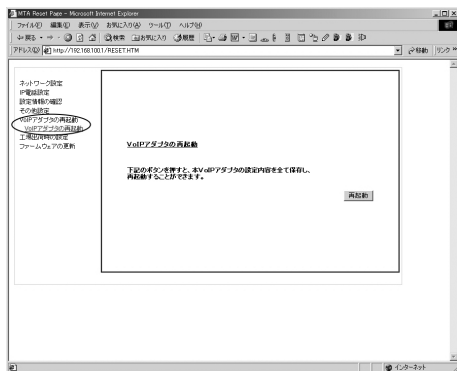
(2) 再起動によるバージョンアップについて

メニュー画面で [VoIPアダプタの再起動] をクリックし、下に表示される [VoIPアダプタの再起動] をクリックします。下記の画面が表示されますので、「再起動」をクリックします。最新ファームウェアの有無を確認し、最新ファームウェアがあれば、自動的にバージョンアップを行ないます。なお、この際、お知らせ通知音によるお知らせは行ないません。

※本商品がインターネットに接続されている必要があります。

ブロードバンドルータ等のLANポートに接続したパソコンからインターネットにアクセスすることで確認できます。

※自動バージョンアップするためには、「アップデートURL」に「http://www.cpeinfo.jp」が入力されている必要があります。



ブロードバンドルータ等との接続時の 注意事項

本商品をブロードバンドルータ等に接続する場合は、以下の点に注意して接続を行ってください。

- 当社で接続確認をとれていないブロードバンドルータ等では、正常に動作しない場合があります。
接続確認のとれているルータについては、当社の以下のホームページをご確認ください。
<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>
- ブロードバンドルータ等のUPnP機能を有効にしてください。
- ブロードバンドルータ等の無通信監視タイマを「無効」に設定してください。
- LANポートに接続したパソコンからWebブラウザを起動して、アドレスバーに[<http://192.168.100.1>]と入力し、[Enter]キーを押したときに、画面に以下の警告文が表示される場合は、ご使用中のブロードバンドルータ等のIPアドレスが、本商品のLANポートのIPアドレスと競合しています。

警告：

WAN側とLAN側のアドレスが競合しています。

この場合は、本商品のLANポートのIPアドレスを[192.168.101.1]等に変更してください。

LANポートのIPアドレスの変更方法

- ①メニュー画面の[ネットワーク設定]の[ルータ/アダプタ設定、UPnP使用]をクリックします。
- ②[ルータ/アダプタ選択]が[アダプタ]となっていることを確認し、LANポートのIPアドレスにIPアドレス([192.168.101.1]等)を入力し、[設定変更]をクリックします。(本商品が自動的に再起動します。)
- ③本商品の再起動が終了したあと、パソコンを再起動してください。

注)：LANポートのIPアドレスを変更した場合、本商品の設定を行う際には、ブラウザのアドレスバーに変更したIPアドレスを入力してください。

変更したIPアドレスはメモにとって保存してください。

例：IPアドレスを192.168.101.1に変更した場合、アドレスバーには[<http://192.168.101.1>]と入力してください。



お知らせ

- NTT西日本提供の「フレッツ・光プレミアム」をご利用のお客は、ブロードバンドルータを加入者網終端装置（CTU）と置き換えてお読みください。

メニュー画面

メニュー画面から、機器の設定の確認やファームウェアの更新などを行うことができます。

メニュー画面には、以下の手順で入れます。

- 1 本商品のLANポートに接続したパソコンから、P21～22の手順1～3を行う。
システム情報の左にメニューが表示されます。

ネットワーク設定

PPPoE/IP設定

PPPoE/イーサネットの選択、ダイナミックまたはスタティックによるIPアドレスの設定等を行います。

ルータ/ アダプタ設定、 UPnP使用

ルータ/アダプタモードの選択、DHCPサーバアドレス等の設定確認、UPnPを使用する/しないの選択を行います。

IP電話設定

IP電話設定

ナンバー・ディスプレイ設定、キャッチホン設定、回線種別設定、IP電話利用時の番号通知の設定等を行います。

設定情報の確認

設定情報の確認

設定情報の確認、バージョンアップお知らせ用URLの設定を行います。

その他設定

システム情報と 端末の状態

機器の情報、端末の状態を表示します。
ログイン用のパスワードの変更を行います。

VoIPアダプタの再起動

VoIPアダプタの再起動

本商品を再起動します。

工場出荷時の設定

工場出荷時の設定

本商品を工場出荷時の設定にします。

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新

ファームウェアの更新を行います。
バージョンアップお知らせ機能によるファームウェアの更新有無の確認、ファームウェアの更新を行います。

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
に
は
1
P
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
バ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

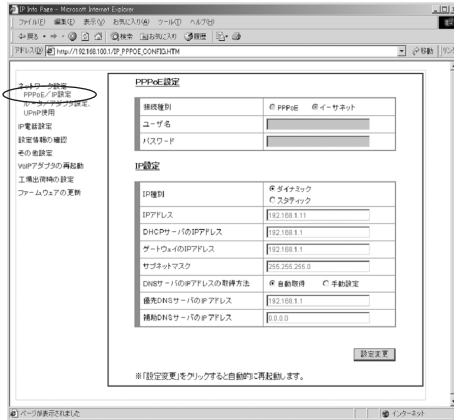
5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

PPPoE/IP設定

ルータモードの場合に使用します。



● PPPoEで使用する。

- ① 接続種別でPPPoEを選択します。
- ② ユーザ名、パスワードにPPPoEのユーザ名、パスワードを入力します。
- ③ [設定変更] をクリックします。

● DHCPクライアントとして使用する。

- ① 接続種別で「イーサネット」を選択します。
- ② IP種別で「動的IP」を選択します。
- ③ [設定変更] をクリックします。

● 固定IPアドレスを割り当てて使用する。

- ① 接続種別で「イーサネット」を選択します。
- ② IP種別で「固定IP」を選択します。
- ③ 必要な情報を入力します。
- ④ [設定変更] をクリックします。

項目	内容	初期値
接続種別	接続形態に合わせてPPPoEかイーサネットを選択します。	イーサネット
ユーザ名	PPPoEのユーザ名を入力します。	なし
パスワード	PPPoEのパスワードを入力します。	なし
IP種別	[ダイナミック]を選択すると、接続時にサービスプロバイダやWANポートに接続したブロードバンドルータ等から自動的に割り当てられたIPアドレスを使用します。 [スタティック]を選択した場合は、お客様が手動でIPアドレスを設定する必要があります。 ※ルータモードの場合は [ダイナミック] を選択します。	ダイナミック
IPアドレス	指定されたIPアドレスを登録します。	なし
DHCPサーバのIPアドレス	入力の必要はありません。	なし
ゲートウェイのIPアドレス	ゲートウェイのIPアドレスを入力します。	なし
サブネットマスク	ゲートウェイのサブネットマスクを入力します。	なし
DNSサーバのIPアドレス取得方法	DNSサーバのIPアドレスを自動で取得するか、手動で取得するかを選択します。	自動取得
優先DNSサーバのIPアドレス	手動設定の場合に優先DNSサーバのIPアドレスを入力します。*1)	なし
補助DNSサーバのIPアドレス	手動設定の場合に補助DNSサーバのIPアドレスを入力します。*1)	なし

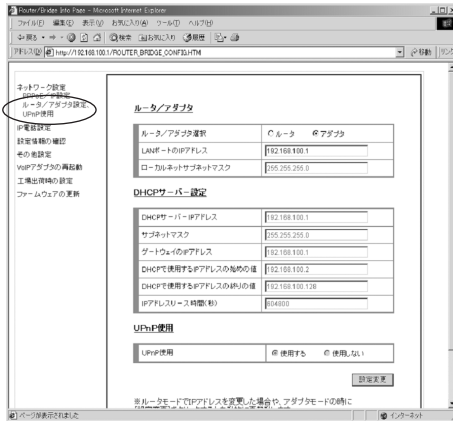
*1 DNSサーバのIPアドレスがご不明の場合は、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。



お知らせ

- プロバイダの設定資料によっては、「ユーザ名」を「ログインID」や「ユーザID」と表記している場合があります。

ルータ/アダプタ設定、UPnP使用



項目	内容	初期値
ルータ/アダプタ選択	本商品の動作モードを選択します。	アダプタ
LANポートのIPアドレス	LANポートのIPアドレスを設定します。	192.168.100.1
ローカルネットサブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	255.255.255.0
DHCPサーバIPアドレス	DHCPサーバのIPアドレスを設定します。	なし
サブネットマスク	DHCPサーバのサブネットマスクを設定します。	なし
ゲートウェイのIPアドレス	ゲートウェイのIPアドレスを設定します。	なし
DHCPで使用するIPアドレスの始めの値	DHCPサーバから割り当てるIPアドレスの割り当て開始IPアドレスを設定します。	なし
DHCPで使用するIPアドレスの終りの値	DHCPサーバから割り当てるIPアドレスの割り当て終了IPアドレスを設定します。	なし
IPアドレスリース時間(秒)	DHCPサーバから割り当てるIPアドレスのリース時間を設定します。	なし
UPnP使用	UPnPを使用するかしないかを選択します。	使用する

1
前に
お
使
い
に
な
る

2
に
は
1
P
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

IP電話設定

ネットワーク設定	
IP電話設定 IP電話設定	
設定情報の確認	
その他設定	
Ver7ソフトウェアの再起動	
工場出荷時の設定	
ファームウェアの更新	

IP電話設定	
ナンバー・ディスプレイ	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない
キャッチホンサービスの有無と 割り込み音の有無	<input type="radio"/> キャッチホン契約あり(割り込み音あり) <input type="radio"/> キャッチホン契約なし(割り込み音あり) <input type="radio"/> キャッチホン契約なし(割り込み音なし)
電話回線の種別	<input type="radio"/> 10 pps <input type="radio"/> 20 pps <input checked="" type="radio"/> PB
IP電話利用時の番号通知	<input checked="" type="radio"/> 通知する <input type="radio"/> 通知しない
ダイヤル桁間タイム	<input type="radio"/> 4秒 <input type="radio"/> 5秒 <input type="radio"/> 6秒 <input type="radio"/> 7秒 <input type="radio"/> 8秒
お知らせ通知音	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF

【ご注意】
ソフトウェアアップデートは接続電圧利用が前提です。【設定情報の確認】の「アップデートURL」に
「http://www.cpeinfo.jp」を入力する必要があります。
なお、「お知らせ通知音」が「OFF」から「ON」に変更した場合は、上記URLが自動的に入力されます。
[設定変更]

項目	内容	初期値
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスなどを接続する場合は「使用する」を選択します。	使用しない
キャッチホンサービスの有無と割り込み音の有無	キャッチホンおよび割り込み音の設定をします。	キャッチホン契約「なし」、割り込み音「あり」
電話回線の種別	回線の契約内容をお確かめのうえ、本商品のダイヤル種別を設定します。 また、ご利用になる電話機のダイヤル種別は、回線のダイヤル種別に合わせてください。	PB
IP電話利用時の番号通知	IP電話として発信する場合、通常ダイヤル時に発信者情報（番号）を通知するかしないかを選択します。	通知する
ダイヤル桁間タイム	ダイヤル入力してから発信までの時間を設定します。（4～8秒）	4秒
お知らせ通知音	アップデートURLが入力されている場合、電話機からの音でお知らせするかしないかを選択します。 なお、「OFF」から「ON」へ設定変更した場合は、アップデートURLに「http://www.cpeinfo.jp」が入力されます。	OFF

設定情報を確認する

IP電話番号等の設定情報を確認することができます。

設定情報の確認

メニュー画面で**【設定情報の確認】**をクリックし、下に表示される**【設定情報の確認】**をクリックする。

IP電話サービスの設定情報が表示されます。

設定変更を行い、**【設定変更】** ボタンをクリックした場合は本商品が自動的に再起動します。約1分後にすべてのランプが順番に一瞬点灯するまでお待ちください。その後、パソコンの再起動を行ってください。

ネットワーク設定
IP電話設定
設定情報の確認
設定情報の確認
その他設定
VoIPアダプタの再起動
工場出荷時の設定
ファームウェアの更新

IP電話サービスの設定値	
SIPサーバアドレス	192.168.100.200
SIPサーバポート番号	5060
REGISTERサーバアドレス	192.168.100.200
REGISTERサーバポート番号	5060
SIPドメイン名	cpeinfo.jp
ユーザ名	1111
パスワード	****
IP電話番号	12345678
市外局番	03
アップデートURL	http://www.cpeinfo.jp

[設定変更](#)

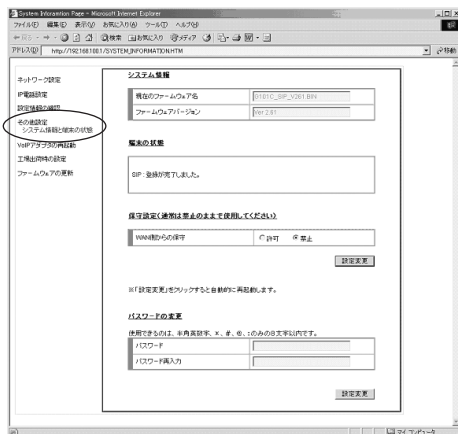
※「設定変更」をクリックすると自動的に再起動します。

項目	内容	初期値
SIPサーバアドレス	IP電話サービスで利用するSIPサーバのIPアドレス、またはFQDN（ホスト名）	なし
SIPサーバポート番号	IP電話サービスで利用するSIPサーバのポート番号	5060
REGISTERサーバアドレス	IP電話サービスで利用するREGISTERサーバのIPアドレス、またはFQDN（ホスト名）	なし
REGISTERサーバポート番号	IP電話サービスで利用するREGISTERサーバのポート番号	5060
SIPドメイン名	お客様のSIPドメイン名	なし
ユーザID	IP電話サービス用のユーザID	なし
パスワード	IP電話サービス用のユーザパスワード	なし
IP電話番号	お客様のIP電話番号	なし
市外局番	お客様の市外局番	なし
アップデートURL	バージョンアップお知らせ用のURLです。このURLを削除すると、バージョンアップお知らせ機能を停止します。なお、お知らせ通知音の設定を「OFF」から「ON」へ変更した場合は、右記のURLが入力されます。	http://www.cpeinfo.jp

その他設定

「その他設定」では、ファームウェアのバージョンや端末の状態などを確認することができます。

システム情報と端末の状態



項目	内容
現在のファームウェア名	現在のファームウェア名です。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンです。
端末の状態	現在の端末の状態です。メッセージと対処方法の一覧はP54～55を参照してください。
WAN側からの保守	通常は「禁止」のままで使用してください。
パスワード	パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを入力します。
パスワード再入力	確認のために新しいパスワードと同じパスワードを入力します。

パスワードは任意の半角英数字、※@:の中から選択できます。8文字以内で入力してください。



お知らせ

- パスワードは、本商品を設定する場合には必要になりますので、控えておいてください。

1
前に
お使
い
に
な
る

2
には
1P
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
バ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

	端末の状態	モード	対処方法
1	UPnP CP: 初期化中です。	アダプタ	この表示で長時間継続する場合は、本商品の再起動を行ってください。
2	UPnP CP: UPnP対応ルータを探しています。	アダプタ	動作確認ルータかどうかご確認ください。 動作確認ルータであれば、「UPnP対応ルータとの接続が完了しました。」の表示に変化するまでしばらくお待ちください。 もし、長時間左記の表示が継続される場合は、ルータのUPnP設定が有効かどうかご確認ください。
3	UPnP CP: UPnP対応ルータの情報を取得中です。	アダプタ	
4	UPnP CP: UPnP対応ルータのUPnPの動作を確認中です。	アダプタ	
5	UPnP CP: グローバルIPアドレスを取得中です。	アダプタ	
6	UPnP CP: ポート番号を削除中です。	アダプタ	
7	UPnP CP: ポート番号を登録中です。	アダプタ	
8	UPnP CP: UPnP対応ルータとの接続が完了しました。	アダプタ	正常
9	SIP: 初期化中です。	ルータ/ アダプタ	この表示が長時間継続する場合は、本商品の再起動を行ってください。
10	SIP: サーバに登録手続中です。	ルータ/ アダプタ	
11	SIP: 登録に失敗しました。サーバから応答がありません。	ルータ/ アダプタ	WANケーブルとの接続をご確認ください。 またはインターネットに接続できること、およびプロバイダの障害の有無をご確認ください。
12	SIP: 登録に失敗しました。DNSの解決ができません。	ルータ/ アダプタ	WANケーブルとの接続をご確認ください。 またはインターネットに接続できること、およびプロバイダの障害の有無をご確認ください。 あるいはルータのDNSリレー機能等の異常の可能性がございます。ルータメーカーにご確認ください。
13	SIP: 登録に失敗しました。設定情報に誤りがあります。	ルータ/ アダプタ	IP電話の設定値に誤りがないかどうかご確認ください。また、インターネットに接続できること、およびプロバイダの障害の有無をご確認ください。
14	SIP: 登録に失敗しました。認証できません。	ルータ/ アダプタ	IP電話サービスの契約、およびIP電話の設定値に誤りがないことをご確認ください。
15	SIP: 登録に失敗しました。 (FORBIDDEN (403))	ルータ/ アダプタ	

	端末の状態	モード	対処方法
16	SIP: 登録に失敗しました。 (INTERNAL_ERROR(500))	ルータ/ アダプタ	インターネットに接続できること、およびプロバイダの障害の有無をご確認ください。
17	SIP: 登録に失敗しました。 (SERVICE_UNAVAILABLE(503))	ルータ/ アダプタ	また、動作確認ルータであるかどうかをご確認ください。
18	SIP: 登録に失敗しました。 (error code xxx)	ルータ/ アダプタ	インターネットに接続できること、およびプロバイダの障害の有無をご確認ください。
19	SIP: 登録が完了しました。	ルータ/ アダプタ	正常
20	PPPoEに失敗しました。設定をやり直してください。	ルータ	PPPoEのID、パスワードをご確認ください。
21	DHCP serverにつながりません。設定をやり直してください。	アダプタ	ルータのDHCP機能が正常に動作しているかどうかをご確認ください。
22	ルータの不正な動きを検出しました。ルータとVoIPアダプタを再起動してください。	アダプタ	ルータがインターネットと接続されていることをご確認ください。 また、ルータのポートマッピング情報に異常が発生している可能性がございますので、ルータと本商品を再起動してください。

1
前に
お使
い
に
なる

2
には
1P
電話
を使
う

3
ご
使
用
方
法

4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

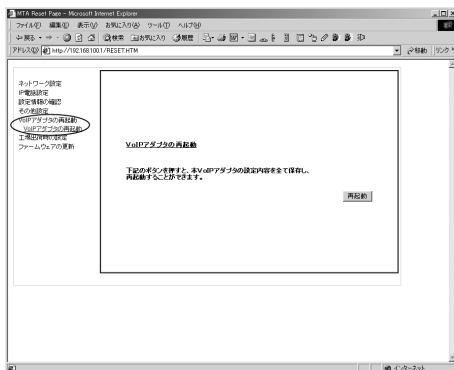
6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

VoIPアダプタを再起動する

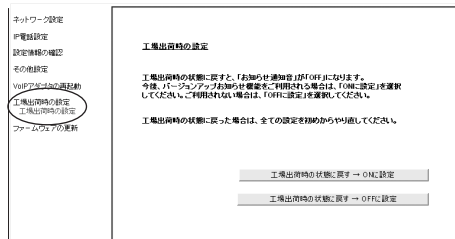
メニュー画面から、本商品を再起動することができます。

VoIPアダプタの再起動



項目	内容
再起動	本商品を再起動します。

工場出荷時の設定



項目	内容
工場出荷時の状態に戻す→ ONに設定	お知らせ通知音は「ON」に設定され、それ以外のデータは全て工場出荷の状態に戻り、本商品が自動的に再起動します。
工場出荷時の状態に戻す→ OFFに設定	お知らせ通知音は「OFF」に設定され、それ以外のデータは全て工場出荷の状態に戻り、本商品が自動的に再起動します。

1
前に
お使
いにな
る2
には
1P電
話を使
う3
ご使
用方
法4
バー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ5
制
限
事
項6
Web
設
定7
ご
参
考

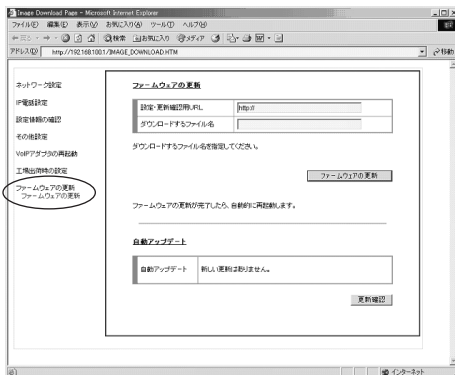
お願い

- 再起動中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となります。

ファームウェアの更新

本商品には、ファームウェアの更新機能があります。

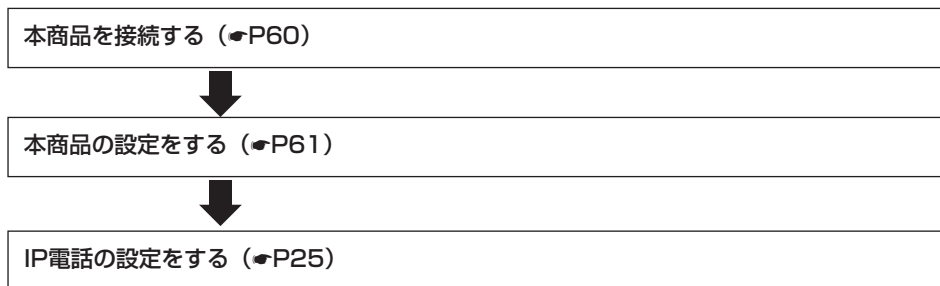
ファームウェアの更新



項目	内容
設定・更新確認用URL	設定・更新確認用のURLを入力します。
ダウンロードするファイル名	ダウンロードするファイル名を入力します。
ファームウェアの更新ボタン	このボタンをクリックすると、ファームウェアの更新が始まります。ファームウェアの更新が完了すると、「ファームウェアの更新が完了しました」の表示が出ます。その後、本商品が自動的に再起動します。約1分後にすべてのランプが順番に一瞬点灯するまでお待ちください。
更新確認ボタン	このボタンをクリックすると、ファームウェアの更新状態が表示されます。

ルータモードでご使用の場合は

ここでは本商品をルータモードとして使用する場合の設定方法を説明します。



1
前に
お使
い
に
なる

2
には
IP
電
話
を
使
う

3
ご
使
用
方
法

4
バ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考



お知らせ

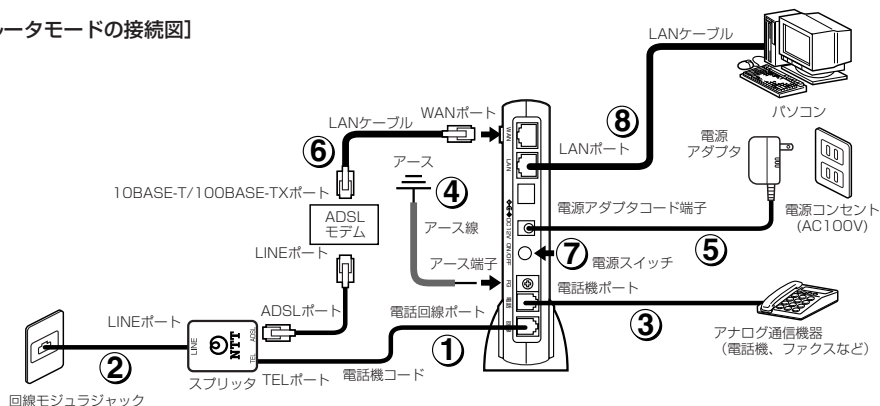
- 本商品の電源を入れ直したときや、設定時に自動的に再起動した場合は、パソコンを再起動してください。
- 本商品の再起動中は電話を使用しないでください。再起動中に着信があった場合は、P56を参照して本商品をもう一度再起動してください。

ルーターモードでご使用の場合は

本商品を接続する

WANポートにADSLモデムを直接接続する場合は下記のように接続します。

[ルーターモードの接続図]



- ① 付属の電話機コードで、本商品の電話回線ポートとスプリッタのTELポートを接続します。
※Bフレットをご利用の場合は、回線モジュラジャックと電話回線ポートを電話機コードで直接接続します。
※回線終端装置を使用する場合はスプリッタは不要です。
- ② 電話機コードで、スプリッタのLINEポートと回線モジュラジャックを接続します。
- ③ 本商品の電話機ポートに、ご使用中の電話機、ファクスなどを接続します。
- ④ 本商品のアース端子にアース線を接続します。
※アース線は別途ご用意ください。
- ⑤ 付属の電源アダプタで、本商品の電源アダプタコード端子と電源コンセントを接続します。
- ⑥ モデムのLANポートと本商品のWANポートをLANケーブルで接続します。
- ⑦ 本商品の電源スイッチを押し、電源をONにします。
- ⑧ 本商品のLANポートにパソコンを接続します。

1
前にお使いになる

2
には1P電話を使う

3
ご使用方法

4
バージョンアップ

5
制限事項

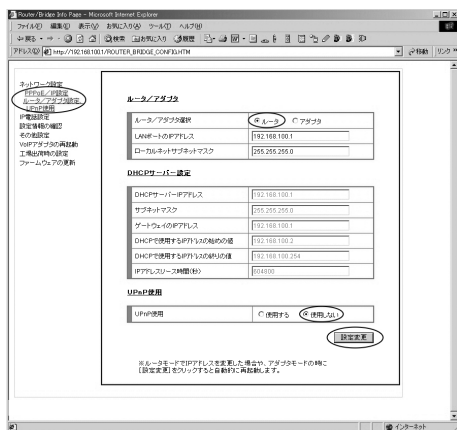
6
Web設定

7
ご参考

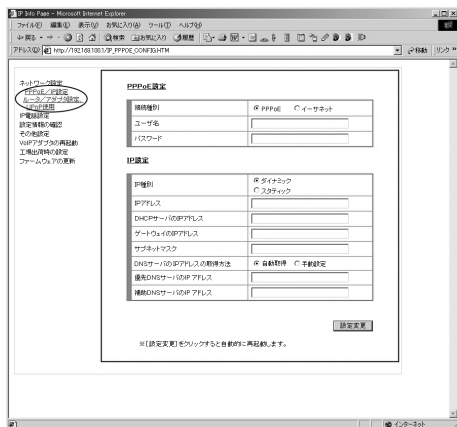
本商品の設定をする

1 メニュー画面で【ネットワーク設定】の【ルータ/アダプタ設定、UPnP使用】をクリックする。【ルータ/アダプタ選択】を【ルータ】に、【UPnP使用】を【使用しない】に設定し、【設定変更】ボタンをクリックする。

- ※【PPPoE/IP設定】画面が表示されます。
- ※本商品をルータモードで使用する場合、ネットワークゲームなどのアプリケーションによっては正常に通信が行えないことがあります。UPnP対応アプリケーションの場合は、【UPnP使用】を【使用する】にしてご利用ください。
- ※IPアドレスは、通常は初期状態でご利用ください。



2 【PPPoE/IP設定】の【IP種別】で【ダイナミック】を確認する。



3 【接続種別】を【PPPoE】に変更し、ご契約のサービスプロバイダから通知されているユーザ名とパスワードを入力する。

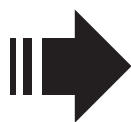
PPPoE設定

接続種別	<input checked="" type="radio"/> PPPoE <input type="radio"/> イーサネット
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>

(次ページに続く)

4 [設定変更] をクリックする。

本商品が自動的に再起動します。約1分後に前面のすべてのランプが順番に一瞬点灯するまでお待ちください。



「IP電話の設定」(P25) へ進みます。



ワンポイント

本商品をルータモードでお使いの場合は、本商品に接続した電話機、ファクスなどからPPPoEを切断/接続することができます。

●切断する場合

- ①ハンドセット（受話器）を取りあげ「ツー」という音を確認後、**＊ ＊ ＊ ① ④** をダイヤルします。
- ②PPPoEが切断されると本商品前面の「PPPランプ」および「VoIPランプ」が消灯しますのでご確認ください。

●接続する場合

- ①ハンドセット（受話器）を取りあげ「ツー」という音を確認後、**＊ ＊ ＊ ① ⑤** をダイヤルします。
本商品が再起動するまでお待ちください。
- ②PPPoEが接続されると本商品前面の「PPPランプ」および「VoIPランプ」が点灯しますのでご確認ください。

- お使いの電話機の電話回線種別がダイヤルパルス（DP）20PPSまたは10PPSの場合は、「**＊**」ボタンなどのダイヤル種別切り替えボタンを押してPB（プッシュ）ダイヤルに切り替えてから、本操作を行ってください。



お知らせ

- 設定画面が起動できない場合は、パソコンのネットワーク設定を確認してください。(P63)

パソコンのネットワーク設定

設定用パソコンには、Ethernet LANインターフェースを装備しており、かつTCP/IPネットワーク設定が必要となります。

パソコンのセットアップを行う

●ご利用できるパソコンのOSおよびWebブラウザ

・ OS

Windows 2000

Windows XP Professional (SP2以降) Windows XP Home Edition (SP2以降)

Windows Vista Home Basic (32ビット版)

Windows Vista Home Premium (32ビット版)

Windows Vista Business (32ビット版) Windows Vista Ultimate (32ビット版)

Mac OS X v10.0/v10.1/v10.2/v10.3(Internet Explorerが標準搭載されている場合)

・ Webブラウザ

Internet Explorer 6.0 (SP2) 以降

●Windows 2000/XPをご利用の場合

① [スタート] メニューの [マイコンピュータ] から [マイネットワーク] を選び、[ネットワーク接続を表示する] を選ぶ。

Windows 2000の場合は [マイネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックしてください。

② 本商品に接続している [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選ぶ。

③ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選び、[プロパティ] をクリックする。

④ [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選び、[OK] をクリックする。

⑤ [OK] をクリックする。

●Windows Vistaをご利用の場合

1. ネットワークから選択する場合

① [スタート] メニューの「ネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ。

② 「ネットワークと共有センター」の「ネットワーク接続の管理」を選ぶ。

③ 本商品に接続している「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ。

④ 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選び、「プロパティ」を選ぶ。

⑤ 「IPアドレスを自動的に取得する(O)」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選び、「OK」をクリックする。

⑥ 「閉じる」をクリックする。

2. コントロールパネルから選択する場合 (標準の表示モードでの手順です)

① [スタート] メニューの「コントロールパネル」を選び「ネットワークの状態とタスクの表示」を選択する。

② 「ネットワークの状態とタスクの表示」の「ネットワーク接続の管理」を選ぶ。

③ 本商品に接続している「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ。

④ 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を選び、「プロパティ」を選ぶ。

⑤ 「IPアドレスを自動的に取得する(O)」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する(B)」を選び、「OK」をクリックする。

⑥ 「閉じる」をクリックする。

●Mac OS Xをご利用の場合

① [アップルメニュー] から「システム環境設定」を選択する。

② 「ネットワーク」をクリックする。

③ 「表示」の欄から「内蔵Ethernet」を選択する。続いて「TCP/IP」タブをクリックし、「設定」の欄から「DHCPサーバを参照」を選択する。

④ 「PPPoE」タブをクリックし、「PPPoEを使って接続する」のチェックを外す。

⑤ 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk使用」のチェックを外す。

⑥ 「プロキシ」タブをクリックし、すべての項目のチェックを外した後、画面左上のクローズボックス (赤色) をクリックして画面を閉じる。

⑦ 設定保存の確認画面が表示されるので、「保存する」をクリックする。

⑧ メニューバーの「システム環境設定」→「システム環境設定を終了」を選択する。

1
前
に
お
使
い
に
な
る

2
1
P
電
話
を
使
う
に
は

3
ご
使
用
方
法

4
バ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ

5
制
限
事
項

6
W
e
b
設
定

7
ご
参
考

各種サービスについて

各種サービスについては下記をご確認ください。

加入電話回線を選択する電話番号

加入電話回線を利用する電話番号は以下のとおりです。

分類	番号	項目
緊急	110	警察
	119	消防
	118	海上
サービス	100	100番通話
	106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）
	108	自動コレクトコール
	107	新幹線列車通話
	117	時報
	177	天気予報
	171	災害用伝言ダイヤル
	122	固定優先接続機能解除 ※1
	104	番号案内
受付	115	電報申込
	113	故障受付
	114	お話中調べ
	116	注文受付
	14X	ボイスワープ設定用番号など
	136	ナンバー・アナウンス/ナンバーお知らせ136
	159	空いたらお知らせ159
	121	クレジット通話 ※1
	#	#ダイヤル

※ 1：番号入力後、続けて番号入力のあるもの

（2008年3月現在の情報です。）

NTTネットワークサービスへの対応について

下記の「加入電話付加サービス等対応状況表」をご確認ください。「加入電話付加サービス等対応状況表」は、本商品に接続された加入電話回線から当該付加サービスを利用できるかどうかについて記載しています。

ただし、IP電話としての通話は、加入電話付加サービスの対象外となります。また、IP電話利用中（発着/通話中）は、加入電話付加サービスが動作しない場合もありますのでご注意ください。なお、IP電話サービスとしての対応状況については、ご契約のプロバイダにご確認ください。

■ 加入電話付加サービス等対応状況表

サービス名	対応可否	【凡例】 ○：従来どおりご利用いただけます。 ●：加入電話通話時は従来どおりですが、IP電話通話時は留意が必要です。 △：一部制約事項があります。 ×：利用できません。
■ 着信者として下記サービスをご利用になる場合		
ナンバー・ディスプレイ キャッチホン・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ	△	IP電話利用中（発着/通話中）の加入電話着信の場合は、発信者番号情報が通知されません。
ナンバー・リクエスト 二重番号サービス でんわばん	●	IP電話への着信時は動作しません。
ナンバー・アナウンス ナンバーお知らせ136	●	IP電話への着信履歴はお知らせされません。
迷惑電話おことわりサービス	●	IP電話への着信は拒否できません。
なりわけサービス	△	IP電話サービスをご利用の場合と同じ着信音が鳴る場合があります。
キャッチホン	●	加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
キャッチホンII マジックボックス（キャッチホン機能）	△	加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。IP電話利用中の加入電話着信はメッセージセンタに転送されません。またセンタでメッセージが残っている場合、ハンドセット（受話器）を取り上げるたびに「ブー」の前に送出される「ブッ、ブッ、」という音は鳴りません。 IP電話利用中（発着/通信中）にメッセージ有りの通知が来た場合、割り込み音が聞こえます。
ボイスワープ ボイスワープセレクト マジックボックス（転送機能）	△	加入電話への着信時のみ動作します。 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。 話中時転送は、加入電話通話中の加入電話着信時のみ動作します。
転送でんわ	△	加入電話への着信時のみ動作します。 解除忘れ警告音が鳴らない等の誤作動をする可能性があります。
モデムダイヤルイン	△	IP電話利用中の加入電話着信の場合は、モデムダイヤルイン対応の電話機でも鳴り分けができません。
PBダイヤルイン	×	着信できません。

各種サービスについて

■発信者として下記サービスをご利用になる場合		
トリオホン	●	加入電話通話中に第2発信できます。(第2発信は「0000」(ゼロ4回)のダイヤルは不要) IP電話利用中に第2発信することはできません。
空いたらお知らせ159	●	相手先がIP電話通話中だった場合はご利用できません。
ボイスボックス でんわ会議 短縮ダイヤル	○	センタへ発信するときは「0000」(ゼロ4回)を付与してダイヤルしてください。
#ダイヤル	○	加入電話回線を自動的に選択し発信します。
フリーアクセス ナビアクセス APナビ ダイヤルQ2	○	ご契約のIP電話サービスが左記のサービスを対象外としている場合は、加入電話発信に自動切替されます。
オフトーク通信サービス ノーリング通信サービス	○	宅内装置をIP電話対応機器と単体電話機の間接続した場合は動作しませんが、スプリッタとIP電話対応機器の間に接続した場合は動作します。
Lモード	△	センタでメッセージが残っている場合、ハンドセット(受話器)を取り上げるたびに「ブー」の前に送られる「ププッ、ププッ、」という音は鳴りません。また、ご利用の電話機によってはダイヤル種別「DP」設定時にLモードを利用すると、接続まで時間がかかり、つながらない可能性があります。 IP電話利用中は、メッセージ到着お知らせサービスを受信できません。

(2008年3月現在の情報です。)

初期化するには

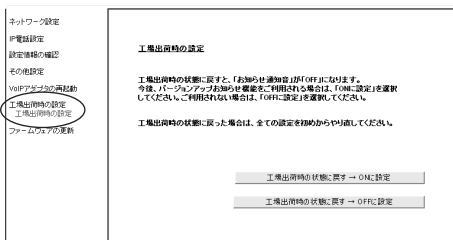
本商品を工場出荷時の設定に戻すことができます。本商品が正常に動作しない場合、または管理者パスワードを忘れたり、IPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を工場出荷時の設定に戻して初めから設定し直すことをおすすめします。

いったん初期化すると、それまで設定した値はすべて消去され、お買い求め時の設定に戻りますのでご注意ください。

●メニュー画面から工場出荷時の設定に戻す場合

1 メニュー画面で【工場出荷時の設定】をクリックし、下に表示される【工場出荷時の設定】をクリックする。

※次の手順を行う前に、WANポートおよび電話回線ポートからケーブルを外してください。



2 【工場出荷時の状態に戻す】をクリックする。

お知らせ通知音の (ON/ OFF) 設定が可能です。(P35)

工場出荷時の状態に戻すと、「お知らせ通知音」が「OFF」になります。今後、バージョンアップお知らせ機能をご利用される場合は、「工場出荷時の状態に戻す→ON」に設定」を選択してください。ご利用されない場合は「工場出荷時の状態に戻す→OFF」に設定」を選択してください。

お知らせ通知音の設定以外のすべてのデータが工場出荷時の状態に戻り、本商品は自動的に再起動します。アラームランプ、PPPランプ、VoIPランプ、電話ランプが約10秒間点灯した後、消灯したら、完了です。

1 お使いになる

2 IP電話を使う

3 ご使用方法

4 バージョンアップ

5 制限事項

6 Web設定

7 参考

初期化するには

●電話機の操作により工場出荷時の設定に戻す場合

1 本商品に接続している電話機のハンドセット（受話器）を取りあげる。

2 「ツー」という発信音が聞こえたら、**(*) (*)(* 9) 9** (注) をダイヤルする。

3 「プッププップ・・・」という連続した音が聞こえたら、続けて
(*) (#)(* #) をダイヤルする。

4 「プー」という連続した音が聞こえたらハンドセット（受話器）を戻す。

注：お使いの電話機の電話回線種別がダイヤル回線の場合には「PB切替」操作を行ってからダイヤルしてください。

すべてのデータが工場出荷時の状態に戻り、本商品は自動的に再起動します。

アラームランプ、PPPランプ、VoIPランプ、電話ランプが約10秒間点灯した後、消灯したら、完了です。

※工場出荷時は「お知らせ通知音」の設定が「OFF」となっております。通知音によるお知らせを希望する場合には、設定を「ON」にして頂きますようお願いいたします。詳しくはP35を参照してください。



お知らせ

- 本商品が工場出荷状態（工場出荷時の設定に戻した状態）の場合、電源を入れると、アラームランプ、PPPランプ、VoIPランプ、電話ランプが約10秒間点灯します。
- 本商品に設定するIP電話サービスの設定値等は重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合等、本商品の利用をやめる際は、必ず工場出荷時の状態に戻し、設定された情報を消去してください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

こんなとき	考えられる原因	チェックポイント
電源ランプが点灯しない	電源アダプタが正しく接続されていない	電源アダプタが正しくコンセントに接続されているか確認してください。
	電源スイッチが入っていない	電源スイッチが押されているか確認してください。
	電源コンセントに電源がきていない	他の電気製品を接続し、電源コンセントに電気がきているか確認してください。
ルータモード時、PPPランプが点灯しない	WANポートにLANケーブルが正しく接続されていない	LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	パスワードが間違っている	正しいパスワードを入力してください。
	110/118/119への発信	P11を参照して電源を一度切ってから再度入れ直してください。
	⊛ ⊛ ⊛ ⊙ ④ のダイヤルによりPPPoEが切断されている	P62を参照して⊛ ⊛ ⊛ ⊙ ⑤ をダイヤルし、再度PPPoEを接続してください。
	必須項目が入力されていない	「本商品の設定をする」P21～24、またはP61～62を参照して再度初期設定を行ってください。
電話ランプが点灯しない	電話回線ポートに電話機コードが正しく接続されていない	電話機コードが正しく接続されているか確認してください。
WANランプが点灯しない	ADSLモデムや回線終端装置と正しく接続されていない	ADSLモデムや回線終端装置とLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。
ルータモード時、LANランプが点灯しない	LANポートにLANケーブルが正しく接続されていない	LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
加入電話で通話ができない	電話機コードが正しく接続されていない	電話機コードが正しく接続されているか確認してください。
IP電話ができない	ADSLモデムや回線終端装置と正しく接続されていない	ADSLモデムや回線終端装置とLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。
	IP電話の登録ができていない	VoIPランプが消灯していないか確認してください。
	ルータとの通信ができていない	ルータの電源が入っているか、またはルータのPPPランプが点灯しているか確認してください。
	ルータとのUPnP通信ができていない	ルータのUPnPが有効となっているか、またはルータの無通信監視タイマーが有効になっていないか確認してください。
IP電話ができない (ハンドセット(受話器)を上げても音がしない)	電話回線ポートに電話機コードが正しく接続されていない。または電話回線が不通になっている	電話機コードが正しく接続されているか確認してください。電話機コードが接続されていない場合や電話回線が不通の場合は、本商品の電源を入れ直してください。
ルータモード時、パソコンからインターネットに接続できない	LANケーブルが正しく接続されていない	LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	DNSサーバのIPアドレスが取得できていない	P49を参照してDNSサーバのIPアドレスを手動で入力してください。

1
前に
お使
い
に
なる2
には
1P
電話
を使
う3
ご
使
用
方
法4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ5
制
限
事
項6
W
e
b
設
定7
ご
参
考

仕 様

項 目		仕 様
WANインタフェース		RJ-45×1 10Base-T/100Base-TX自動切り替え
LANインタフェース		RJ-45×1 10Base-T/100Base-TX自動切り替え
アナログ局線インタフェース		RJ-11×1 加入電話
電話インタフェース		RJ-11×1 加入電話
IP系機能	WAN側IPアドレス取得	PPPoE終端/DHCPクライアント/手動IPアドレス割り当て
	LAN/WAN接続	ルータ接続
	その他のIP系機能	DHCPサーバ機能
Voice系機能	呼接続手順	SIP
	音声CODEC	G.711(μ -law)、G.729A
	Echo Cancellor	G.168
	VoIP/PSTN発信機能	発信選択機能、発信識別LED表示
	停電時動作	加入電話への発着信が可能
保守・運用・設定	機器の設定	Webブラウザによる、機器の各種設定が可能
	バージョンアップ	ファームウェアのバージョンアップが可能
本体寸法		約177×163.5×34 (mm)
本体重量		約340 g
電源電圧		AC90 V~110 V
消費電力		最大約6.2 W
電磁妨害波規格		VCCIクラスB
動作環境		温度：5℃~35℃ 湿度：85%以下（結露しないこと）

※静的IPマスカレードには対応していません。

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。

（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

●パソコンの接続・設定等に関するお問い合わせ

☎ 0120-275466（24時間年中無休）

●故障に関するお問い合わせ

☎ 0120-242751（24時間年中無休）

※故障修理等の対応時間は平日9：00～17：00、土・日・祝日および年始1月1日～1月3日は休業とさせていただきます。

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120-710444（受付時間 9：00～21：00）

※携帯電話・PHS・IP電話からご利用の場合：03-5667-7200

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

●故障に関するお問い合わせ

☎ 0120-248995（24時間年中無休）

●本商品の取り扱いに関するお問い合わせ

☎ 0120-109217（受付時間 9：00～21：00）

※携帯電話・PHS・IP電話からご利用の場合：

東海・北陸・近畿・中国・四国地区（06-6341-5411）

九州地区（092-720-4862）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

1
前
に
お
使
い
に
な
る2
に
は
1
P
電
話
を
使
う3
ご
使
用
方
法4
パ
ー
ジ
ョ
ン
ア
ッ
プ5
制
限
事
項6
W
e
b
設
定7
ご
参
考

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

©2008 NTEAST・NTTWEST



本2420-5(2008.3)
VoIPアダプタトリセツ